自己評価結果公表シート

学校法人　昭光学園　　昭光幼稚園
（令和４年度）

1、本園の教育目標

『明るく、伸び伸びと、創造性豊かな子どもに』
健全なる精神・健全な身体を育成するためにふさわしい環境を与え、子どもの成長と発達・育成に努める。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

幼稚園の教育課程の内容を確認し、教職員の共通理解をはかり、教育の質を高める。
自己点検・自己評価を実施することによって、教職員自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善に取り組む。新型コロナウイルス感染対策と付き合いながら、保育をより良く充実させる為に環境を改善し整える。

3、評価項目の達成及び取組状況

評　価　項　目	取　組　状　況
幼稚園の教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解をはかる。	毎週職員会議を行い、カリキュラムについて話し合う。指導計画に加筆、訂正を行い、それぞれの子どもの実態に即した保育に努めている。 日案を書くことにより振り返り、自身の保育の向上に繋がっている。
教育の質の向上 多くの研修会に参加し、園内研修の充実 中でも特別支援教育に関する研修の充実	・毎週、子どもの姿について話し合いの場を設け、様々な対応や子どもの様子、反省点を全教職員で共有している。加えて、行事ごとに反省会を開き、互いの保育の質の向上に努めている。 ・オンライン研修に加え、対面研修が再開された。研修報告会を開催し、全教職員で共有し知識向上へと繋げている。 ・臨床心理士による研修を受け発達障害に対する理解を深めている。必要であれば、保護者と臨床心理士との面談の機会を設け、その後に繋がるように、更には保護者の子育てに対する不安軽減に努めている。
保護者のニーズを把握 要望に適切な対応・迅速丁寧な情報提供	・学期毎に保護者懇談を実施し、保護者の生の声を聞く場を設けた。保育参観や行事参加の機会では、アンケートを実施している。結果を公表し、改善すべきことは改善している。

	・園よりのおたよりを充実させ、園に対して理解を深められるように情報提供に努めている。 ・感染症対策の為、変更を余儀なくされた行事の参観方法やプログラム構成などについて、都度、保護者へヒアリングを行い、子どものマスク着用を保護者の判断に委ねる等、意見を取り入れ相互理解に努めた。
子育て支援活動の充実	・未就園児こぐまクラスにおいて大幅リニューアルを実施した。 月１日を週５日開催に変更し、同年代の子ども同士の交流の場として集団生活に慣れることや、保護者の要望に応えるよう努めた。 ・コロナ禍の為、状況を鑑みながら、園庭開放など子育て支援活動を実施した。
スポーツを通じて地域との交流	・イトマンスイミングスクールの提携園となった。保護者からは、スイミングスクール入会や水泳がより身近なものになったと好評であった。 ・セレッソ大阪スポーツクラブ主催　子ども向け「サッカー教室」を開催した。 プロのトレーナーによる指導の下、体幹や基礎体力を養うだけでなく、楽しみながらサッカーに親しみ、チームとして友だちとの団結力・思いやりの心の育成に繋がった。
子どもの体力向上	・体育専門講師の指導を基に、体育の時間以外でも、縄跳び、鉄棒等を積極的に頑張る姿が多くみられた。保護者からも体力が向上し、精神的に強くなったと好評である。
歯磨き、手洗い指導	・花王グループカスタマーマーケティング(株)主催「歯をみがこう教室」「手洗い教室」を実施した。 子どもの健やかな成長に必要な基本的な知識が、楽しみながら身に付くことを目的としている。
安全対策	・月１回火災、地震等の災害に対する避難訓練を実施し、スムーズに避難できるようになっている。 ・消防署による消防訓練を実施し、子どもたち

	がわかりやすく安全についての意識を高め、自ら身を守ることの大切さについて考えることができた。 ・消防署による消防花火教室を実施し、花火で遊ぶ時の注意点や使用方法を学んだ。 ・警察署による交通安全教室を実施し、交通のルール、横断歩道を渡るときの注意点など、実際に園庭に道路を描き渡ることで、実践的に学ぶことができた。 ・職員で消化器訓練を行い、実際に操作することで実践的な知識が身についた。 ・職員全員で防犯訓練を実施し、子どもの命、安全を第一に考え、考え得る事例や対策などを話し合い、共有した。
環境設備	・ 砂場に抗菌砂を増量し、子ども達にとって安心安全で、益々充実した保育を提供出来る様になった。 ・遊具の安全チェックリストを基に、定期的にチェックを行った。必要箇所には補修をし、安全対策に努めた。（一輪車、ホッピングを導入）
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策段階的緩和	・マスク着用、検温、消毒、手洗い、経過観察表のチェック、行事の分散、プログラムの変更、２人用机の使用、パーティション設置を徹底するなど、出来うる対策を引き続き講じ、必要に応じて緩和していった。 ・陽性者発生時は、状況に応じて速やかな対応、保護者への連絡に努めた。 ・教職員に PCR 検査キットを配布、定期的に実施することで、園児や保護者・教職員に対して安全な環境を整備した。

４、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

評価項目に沿って自己点検・自己評価を実施することによって、教職員一人一人が自らの保育を振り返ることが出来た。また、アンケートの実施により保護者のニーズが理解でき、応えることが出来た。それらを踏まえて、行事の見直し等を検討し、安全対策の見直しを図った。今後、さらに充実した実践ができるように努めたい。
各行事においても、安心安全に取り組めるよう、出来る限りの対策を講じながら実施できたことや、保護者の意見を取り入れ、相互理解に努めたことは、評価を得た。

５、今後取り組むべき課題

課　　題	具体的な取り組み方法
特別支援教育	特別に配慮の必要な子どもに対応した指導計画・支援計画の作成を検討する。そのために、教職員一人一人が研修会に参加して研究・研修につとめる。
園に対する保護者のニーズと満足度の把握	建学の精神に則った、私学の独自性に充分配慮しつつ、保護者のニーズを把握して、改善すべき点は改善していきたい。
感染症対策緩和し、新たな保育へ移行	感染症対策を緩和しつつも、引き続き消毒・手洗い励行・パーティションの使用等の状況に応じた対策を実施し、子どもたちが安心して取り組める活動を模索していく。
地域と交流を深める	中止していた近隣中学校との職場体験学習の再開を検討中であり、少しずつ交流の場を設けていきたい。その他、地域との交流をどのように実施できるか、少しでも子どもたちが楽しく充実した交流となるよう、引き続き検討していく。

６、学校関係者の評価

委員からは、概ね良好な運営をされており、教職員の熱心な保育活動も見られ、保護者の意見も汲み取り、相互理解に努めている。また、学校評価にも積極的に取り組まれている、という意見をいただいた。
また、アンケートの結果を基に様々な声を汲み取り、積極的に保護者と交流の場を設けることで保護者からの信頼も厚い、という意見をいただいた。

７、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。